

2021年3月17日

## 2020年度 宇宙工学部門 部門賞・一般表彰

第98期 宇宙工学部門長 田中 宏明

2020年度宇宙工学部門の部門賞および一般表彰として、以下の方々に賞をお贈りすることといたしました。受賞者の皆さま、おめでとうございます。

名称	受賞者 / 受賞理由
部門賞—宇宙賞	<b>はやぶさ2 衝突装置・分離カメラ開発チーム</b> 小惑星探査機「はやぶさ2」の衝突装置・分離カメラを開発し、小惑星リュウグウ表面での人工クレーターの形成に成功、またクレーター形成の一部始終を分離カメラにより観測した。これらの成果により小惑星地下物質の採取を可能としたほか、クレーター形成メカニズムの解明に寄与するなど高度な宇宙探査つながる技術の開拓に貢献した。
部門賞—宇宙賞	<b>はやぶさ2 サンプリング装置開発チーム</b> 小惑星探査機「はやぶさ2」のサンプリング装置を開発 様々な改良を行い、小惑星リュウグウから固体サンプルだけでなくガスサンプルのサンプルリターンに世界で初めて成功した。これらの技術により効率的な小惑星物質の採取を可能とするなど高度な宇宙探査つながる技術の開拓に貢献した。
部門賞—業績賞	<b>和田 豊 氏 (千葉工業大学)</b> ロケット推進技術の研究に取り組み、大学ロケットとしては世界初の洋上打ち上げに成功するなど日本の宇宙工学の発展に貢献した。
部門一般表彰 スペースフロンティア	<b>「膜展開式軌道離脱装置」研究開発チーム</b> (代表：栗原 聡文 氏) 人工衛星打上げ後の初期軌道投入高度を制御することができる分離型膜展開式衛星軌道投入装置の研究開発を行い、世界初の軌道上実証を達成し、また無重力環境下における薄膜全面の展開挙動の動画撮像を行い機械工学に重要な成果をえるなど日本の宇宙工学の発展に貢献した

また、衛星設計コンテストおよび各講演会にて優秀な講演を行った学生に対して、以下の賞をお送りいたしました。受賞者の皆さま、おめでとうございます。

名称	受賞者 / 受賞理由
<p style="text-align: center;"><b>部門一般表彰</b> スペースフロンティア</p>	<p style="text-align: center;"><b>佐々木 航平 氏 (芝浦工業大学)</b></p> <p>第 28 回衛星設計コンテストにおける応募作品 「月極域小型探査機「TAIAN」」 に対して</p>
<p style="text-align: center;"><b>部門一般表彰</b> 優秀学生講演賞</p>	<p style="text-align: center;"><b>野呂 拓臣 氏 (名古屋大学 大学院)</b></p> <p>日本機械学会 2020 年度年次大会 (宇宙工学部門主催 OS) での講演「低軌道での相対周回条件を考慮した空力効果低減による衛星編隊維持」 に対して</p>
<p style="text-align: center;"><b>部門一般表彰</b> 優秀学生講演賞</p>	<p style="text-align: center;"><b>岡田 英 氏 (東京大学 大学院)</b></p> <p>2020 年度スペース・エンジニアリング・カンファレンスでの講演「月惑星着陸機の転倒抑制形状最適化に関する検討」 に対して</p>
<p style="text-align: center;"><b>若手優秀講演フェロー賞</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>高田 裕亮 氏 (北海道大学・大学院)</b></p> <p>日本機械学会 2020 年度年次大会 (宇宙工学部門主催 OS) での講演「60wt%過酸化水素を用いたハイブリッドロケットの点火特性」 に対して</p>